



ひらせい リフォーム 施工事例

リフォームかわら版
vol.48

今回は、理想の子供部屋リフォームについてのお話です。

子供部屋は勉強をする部屋であり子供が自立するための場所であって欲しいと思います。そこで理想の子供部屋にするヒントを集めてみました。リフォームの参考にしてください。



①勉強の動機づけになる配置は？

家相では東向きの子供部屋は吉、勉強するのに良い方位は北だと言われています。少し寒いぐらいで落ち着いた空間が良いようです。ドアを開けると机が目に入るように配置することで勉強することの動機づけになります。

②勉強に集中しやすい内装は？

「青」は人間を冷静にし、「緑」は心身を落ち着かせる効果があるとされています。そして、縦のストライプ柄は神経を集中させる効果があるそうです。机の周りは、直線で構成したシャープなインテリアでまとめると適度な緊張をもたらすとか。

③リラックスしやすいベッド回りは？

現代の子供たちはストレスを抱えています。ベッド周りは曲線を使った優しいラインにすることで、リラックスできる空間になります。また、無垢の板やコルク、珪藻土など自然素材を採用するのも良いでしょう。自然素材は緊張を解きほぐし、心を落ち着かせる効果があるとされています。

【施工例】



家相では東向きの部屋で机が北向きだと落ち着いて勉強ができるそうです。(A様邸)



洋間の娘さん2人の机を並べました。反対側は家族共有のパソコンコーナーです。(K様邸)



子供部屋のドアも床もパイン材。自然素材がお子様の成長を育みません。用途にあわせて間仕切りドアを開閉。残りのパイン床材を有効活用してキャスター付ボックスをつくりました。(F様邸)



エジソンなどの多くの発明家たちは幼少期に天井の高い家で育ったことから、高い天井の家は子供が伸び伸びと育ち発想力が豊かになるという説があります。板張りで梁をあらわした天井の高い書斎。(K様邸)



心身を落ち着かせる色(青や緑)や神経を集中させる縦ストライプ柄をカーテンでコーディネートするのもひとつ。

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部